

政策委員会・政策専門部会合同会議を開催

令和6年度福島県予算要求に向けて検討をスタート！！



挨拶する連合福島 澤田会長

政策の取り組みは、連合運動の大きな柱であり、特に福島は他県にない大きな課題を抱えており、課題解決の手法として県予算への提言は連合福島の重要な役割である。我々は県民であり、労働者、組合員であることから、当事者目線で要求を作り、提言し、福島の復興創生と『みんなが輝くふくしま』を創るため取り組みをお願いしたい。」と挨拶した。



熱心に傾聴する参加者

との指摘があった。さらには、コロナ禍で浮き彫りになった新たな貧困層にも言及があった。

第二部の専門部会では、「産業・雇用・労働」「行財政・防災、WLB・男女共同参画・子育て・教育・福祉」「情報通信・交通・環境・資源エネルギー」4つの専門部会と「保健・医療・介護」連絡会にそれぞれ別れ、部会の進め方や前年度要請に対する県回答の検証など、それぞれ協議を行った。

連合福島は、5月11日（木）、「2023年度政策委員会・政策専門部会合同会議」を開催した。冒頭、澤田精一連合福島会長からは「県内は、東日本大震災からの着実な復興・創生が進展する一方で、頻発する自然災害、急激に進む人口減少と少子高齢社会、3年以上にも及ぶコロナ禍、続く物価高、そして脱炭素化、デジタル化の推進など課題は多岐にわたる。制度



講演する 今井 照 先生

第一部の特別講演では、今井先生より「政策制度要求のために一県予算を読み解く」と題して講演をいただいた。講演では2023年度の国の地方財政計画及び福島県決算並びに当初予算の特徴を分析。そのうえで「福島県では財政調整基金や減債基金を毎年度の当初予算に繰り入れて予算を組んでおり、一般的な予算編成と異なるなど、基金の出入りが分かりにくく、目的に合致した使われ方をしているか確認が必要。」



専門部会での検討